

令和5年度大学院地球社会統合科学府

修士課程（夏季）入学試験

入学試験問題

⑥ 文化人類学

注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、全ての解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

I. つぎの人名から4人を選び、それぞれ主要著作に言及しつつ、その研究について概説しなさい。解答の前に記号（大文字）を記すこと。（各3行程度）【各10点、合計40点】

- (A) エドワード・バーネット・タイラー(Edward Burnett Tylor)
- (B) ベネディクト・アンダーソン(Benedict Anderson)
- (C) 梅棹忠夫(Umesao Tadao)
- (D) フィリップ・デスコラ(Philippe Descola)
- (E) マーシャル・サーリンズ(Marshall Sahlins)
- (F) ロベール・エルツ(Robert Hertz)
- (G) ジョン・アーリ(John Urry)
- (H) クロード・レヴィ=ストロース(Claude Lévi-Strauss)

II. つぎの項目のなかから4つを選び、それぞれ文化人類学における意味を考慮に入れつつ簡単に説明しなさい。解答の前に記号（小文字）を記すこと。（各3行程度）【各10点、合計40点】

- (a) インセスト・タブー(incest taboo)、(b) 身体変工(mutilation)、(c) 象徴人類学(symbolic anthropology)、(d) 狩猟採集民(hunter-gatherer)、(e) スポーツ(sports)、(f) 人新世(anthropocene)、(g) 伝統の創造(invention of tradition)、(h) 邪視(evil eye)

III. 近年の文化人類学では、動植物やモノ、概念や「超自然的存在」など人間以外のものを人間と同等のアクターとして扱う議論が盛んになされている。こうした研究の動向についてどのように考えるべきか、文化人類学の歴史を踏まえ、具体的な文献や事例をあげながらあなたの意見を述べなさい。（10行程度）【40点】

IV. これまでに読んだ文化人類学の本のうち、もっとも興味深いと感じたものを1冊ないし2冊あげて題名と著者を明記し、その内容およびどのような点に興味を惹かれたのかについて述べなさい。*問I・問IIIの解答と重複しないようにすること。（10行程度）【40点】

V. グローバル化は、しばしば地球上の人々の暮らしを均質化するものと想像されている。すると「異文化」を研究対象とする文化人類学の意義は、グローバル化の進展に伴って薄れてゆくのだろうか？ グローバル化とは何かについてあなたの見解を示したうえで、上記の問いに対する意見とその理由を具体的に述べなさい。（10行程度）【40点】